

農福連携プラス推進モデル事業における取組事例（香川県・高松市）

農業以外の連携先（プラス）

子ども食堂、庵治小学校・中学校、さぬきこどもの国等

実施事業所・連携事業所

きらり

事業の応募のきっかけ（地域が抱える課題）

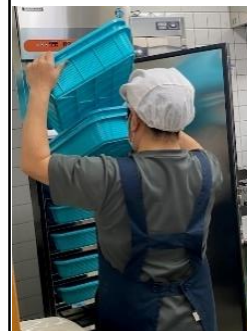
社会福祉法人洋々会が運営する就労継続支援B型事業所きらは、人口減少・高齢化が著しい高松市庵治町にあり、障害者の就労先の確保と農地維持が課題であったことから、当事業所では、農福連携を推進することで、障害者の安定的な就労機会を創出するとともに、耕作放棄地の活用を図ってきました。これまで一定の成果を上げてきましたが、事業所で栽培した野菜を使用した付加価値の高い商品を開発・販売することにより、就労機会の増加や工賃向上を図るとともに、地域を活性化したいと考えています。



事業内容

収穫体験会、商品の販売業務等を通して、地域住民と交流することで、障害者の社会参加を促進していきます。事業所で栽培した野菜を使って、新たに開発したお弁当やスイーツ等を庵治町含め高松市内の子ども食堂に廉価で販売することで、子供たちや子育て家庭を支援し、地域の子育て支援の充実に寄与します。また、新たに開発したお弁当やスイーツ等を認知症カフェで販売・提供することで、高齢者を支援し、地域の高齢者支援の充実に寄与します。

さらに様々なイベントに積極的に参加し、商品を販売することで、販路拡大に努めるとともに、地域のにぎわい創出に取り組めます。



事業実施後の効果

製造機器等を導入したことで、事業所で栽培した野菜を加工し、付加価値の高い商品を開発ができました。そして、様々なイベントにて販売した結果、事業所の売上に繋がりました。

さぬきこどもの国やサンメッセ香川で開催された「たかまつ食と農のフェスタ」に参加したり、地元庵治町で開催された「庵治わいマルシェ」や小学校、中学校が協力して行った「庵治祭」にも参加しました。販売を通して、地域の方々に農福連携や事業所の取り組みについて知って頂けました。

また、高松市の協力のもと、子ども食堂を月2回開催し、お弁当等を販売したところ、旬の野菜が入ったお弁当で楽しませてもらっていると好評でした。

障害者、ひとり親世帯、高齢者などの方々に農福連携事業で生産した、新鮮なお野菜を使用したお弁当を提供し地域での居場所創出を支援することができました。